



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。
北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.19

第2回北区認知症フレンドリーアイデアミーティング 「認知症になってもはたらく！！」を開催しました！

10月20日（金）に令和5年度第2回アイデアミーティング「認知症になってもはたらく！！」を開催しました。「認知症のある方がはたらく」実践例を学ぶとともに、認知症ご本人をはじめとしたサービスご利用の方がやりたいと思うことから、「社会参加・はたらく」ための場づくりについてワークショップ形式で考えました。介護事業所、企業、認知症本人、認知症サポーター等29人が集まり、活発なアイデアミーティングになりました。

第1部 前回の振り返り・事例紹介

- ・デイサービスセンター シルヴィー西尾の紹介
- ・「はたらく・社会参加」事例紹介



第1部
の様子

講師

株式会社DFC
パートナーズ
大平 美和 氏

第2部 アイデアミーティング

「社会参加」モデル事業実践に向けて
一人の“こんなことやってみたい”を考えるー

①はたらく

仕事を介してコミュニケーションをとるとい
う言葉が印象に残った。

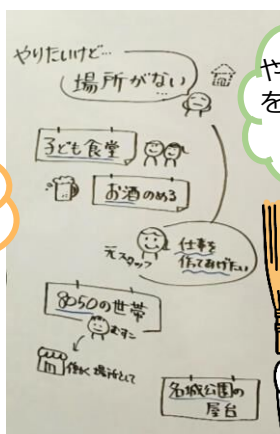
社会を通して貢献した
い企業はある！

その人の得意なことにあっ
た仕事はたくさんあるので、
マッチングできるといいな。

手伝うことで出会い
の場になる



②特性を活かす



やりたいこと
をやる場所
がない



子ども食堂・
名城公園との
連携



③人と関わる

子ども食堂
との連携

子どもと交流
すると表情が
豊かになる



子どもとつながる
ことのできる場所
が必要では

地域の中で
つながる！！